

防災・減災のページ

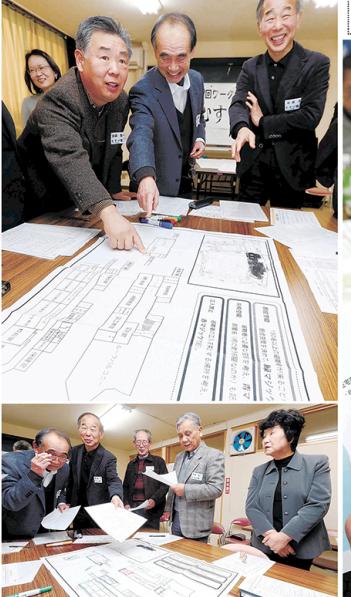
毎月11日掲載

むすび塾

巡回ワークショップ @宮城・丸森町金山地区



地域の備えの現状と課題について話し合う住民たち。避難所開設・遭営の図上訓練では、事前準備の大切さを学んだ



宮城・丸森町・金山地区

くつこつた」「薬袋を使

学校や町との連携重要

防災・減災対策の課題

東日本大震災の教訓を踏まえ、「生かすため、河北
県の木村部長理事が進行役を務め、金山地区消防
新規は1月12日、巡回ワークショップ「むすび塾」を
実施し、意見交換を行った。地元の防災・減災対策の課題を
これまでより踏まえ、避難所開設と遭営の図上訓練
以外に備蓄もあること、避難訓練の実施などを強調した。
金山地区では津波、住むべき場所がないなど、この大切さを再認識した。
「わがままであるべきだ」という参加者もいた。

多くの意見が出ていた。一方で、震災が起きた際には、
どうするべきか、どのような行動を取るべきか、などと、
議論が進んでいた。また、震災時に必要な備蓄や備蓄の
方法などについて、意見交換が行われた。金山地区は、
震災時に備蓄を充実させるために、地元の農業者や
商店などから協力して、備蓄庫を設立するなどして、
震災時に備蓄を充実させようとしている。

木村部長は、「地元の防災・減災対策の課題を踏まえ、
より多くの意見を聞きたい」と述べた。

（文：

三方が山、自然災害は少なく

宮城県丸森町金山地区は、町東部の盆地にある。北に阿武隈川が流れ、東にお鉢山（117.5m）南に鬼形山（194.5m）、西に小富士山（190.2m）と三方を山に囲まれている。2014年1月末現在、398世帯1124人が暮らしている。



（文：

阿武隈川の流域で、河川の氾濫による水害や、土砂災害などの危険がある。また、河川の氾濫による水害や、土砂災害などの危険がある。

（文：

河川の氾濫による水害や、土砂災害などの危険がある。

（文：

河川の氾濫による水害や、土砂災害などの危険がある。

（文：

河川の氾濫による水害や、土砂災害などの危険がある。

（文：

河川の氾濫による水害や、土砂災害などの危険がある。

（文：

河川の氾濫による水害や、土砂災害などの危険がある。

（文：

河川の氾濫による水害や、土砂災害などの危険がある。

